

2 奥尻島における森林環境教育の取組について

檜山森林管理署 森林官（奥尻） 中山 晃一

研究の背景・目的

奥尻町では、平成28年度から第8次奥尻町社会教育中期5カ年計画のもと、おくしりチャレンジスクール等の社会教育を実施しています。計画によると30の家庭教育サポート企業、4の学校支援企業、20の行政機関が学校支援ボランティアとして登録され、見学、職場体験、授業協力等を行っています。奥尻森林事務所も行政機関として登録されており、今年度3件の授業協力を実施したので報告します。

檜山森林管理署奥尻森林事務所の登録内容

登録内容		樹木の識別で森林に親しむ	高学年
ゲームを通じて森林に親しむ	低学年	森林の働き、奥尻森林状況講話	中学生
木工等を通じて森林に親しむ	中学年	日本、世界の森林状況講話	高校生

研究の内容・成果

おくしりチャレンジスクール（年12回開催）の“おくしり森林学校”（小学生対象）



教育委員会主催の募集型講座で、町体育協会、町文化協会、フェリー会社等が協力する道民カレッジ連携講座です。奥尻森林事務所も、本署の協力を得て、おくしり森林学校として測樹・樹種解説・フィールドビンゴ・種飛ばし講座を実施しました。

町おこしワークショップ（全7回開催）の“自然を生かした観光コース提案”（高校全学年）



高校実施の社会教育講座で、職業人を招いて15分の課題解説の後、高校生が課題解決提案を行うものです。奥尻森林事務所からは、国有林における樹林・花・植生・地形・景観等を写真で説明し、観光コース提案としました。

社会見学（全4箇所・午前）のブナ林見学、森林と機能や便益・木材・国有林に関する質問（小学3年生）

小学校3年生の社会見学でアワビ種苗施設、飲料水工場と水源涵養として森林を見学するもので、ブナ天然林の林班でブナの解説後、児童からの質問に回答しました。民有林の事情や、島個別事情の説明が不足しました。



今後の展開

①おくしり森林学校について

改良を模索し、レパートリーを増やし、署として実施しやすい日程・内容の提案を行います。

②自然を生かした観光コース提案について

高校ではその後生徒によるプレゼンテーションを開催、盛況のうち今年度ワークショップを終えました。

③社会見学について

見学内容をまとめ、生徒が自主的に追加調査し、発表会を実施予定です。森林事務所としては、情報提供の協力を今後も続ける約束をしています。

④全般的な今後について

依頼内容によっては、林業や森林といったものにとらわれないものもあり、奥尻島の基幹産業である、観光・一次産業外幅広い対応が求められ、各機関との協力体制が必要となって来ました。